

広報 Public relations of mikawa town

みかわ


令和5年
2023

4

No.794
April

Contents

- ▶ 令和5年度三川町施政方針と予算
- ▶ 遊びにおいでよ！パーク赤川
- ▶ 子ども広場(みかわ保育園・幼稚園)
- ▶ まちかど写真館
- ▶ 食のみかわおしながき

 あふれる笑顔 みんなが住みやすいまち ハートフルタウン **みかわ**

みかわの四季を 探しに行こう！

 若木の桜 (4月5日、桜木地内)





令和5年度 三川町施政方針と予算

町議会3月定例会において、今年度の町政の基本となる令和5年度施政方針を阿部誠町長が示し、審議を経て、予算が議決されました。

今年度も、「住民参加による協働の推進」、「効率的な行政運営の推進」、「持続可能な財政基盤の確立」の3つの柱を行財政運営の基本として、第4次三川町総合計画の一層の推進を図り、本計画に掲げる施策の着実な実行に取り組みます。

ここでは、今年度の施政方針の主な内容と予算についてお知らせします。

令和5年度三川町施政方針の概要

日本の経済は、コロナ禍に低迷した社会経済活動の正常化が進みつつある中、国際的な原材料価格の上昇や円安の影響等によるエネルギー・食料価格の高騰などの影響により、厳しさを増しております。

このような状況において、本町では、子育て支援の充実と健康・生きがいづくりの推進、安全・安心で快適な環境の構築、魅力ある産業の創出と交流人口の拡大を基本として、令和5年度当初予算の編成を行いました。

本町を取り巻く環境は、少子高齢化の進行やデジタル社会への対応、多発する自然災害、地域経済の回復など、喫緊かつ重要な行政課題への対応が求められております。

このような中、町民の生命と暮らしを守ることを最優先として、第4次総合計画に掲げた将来像の実現に向けて、これまでの本町の取り組みの成果と実績を基に、多くの課題に対し、町民の皆さまと力を合わせて取り組み、町民の福祉向上と町政の発展を目指します。

まちの将来像

あふれる笑顔

みんなが住みやすいまち
ハートフルタウンみかわ



令和5年度
町の予算は

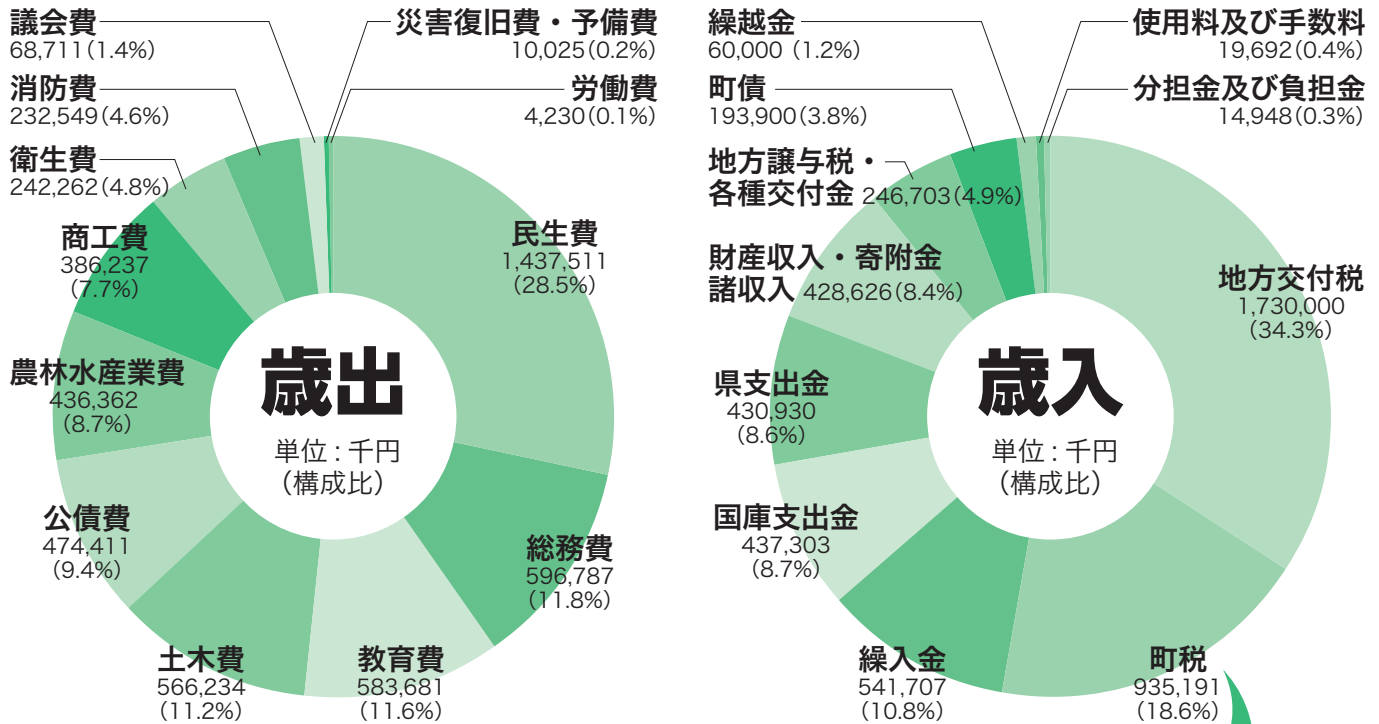
50億3,900万円

一般会計予算
前年度比
1.2%増

本町の令和5年度一般会計予算は、50億3,900万円で、前年度に比べて5,818万6千円の増額(1.2%増)となっています。このうち、第4次三川町総合計画に基づく主要施策を進めていくための事業費として、前年度比3.1%増となる15億3,006万1千円を計上しました。

次ページ以降で、今年度本町が重点的に取り組む施策を、総合計画で定めた基本目標ごとに紹介します。

○一般会計予算



○基金の状況(令和5年1月1日現在)

財政調整基金	6億6,589万円
減債基金	6,807万円
ふるさと基金	4億2,140万円
温泉施設基金	7,535万円
国際交流基金	1,213万円
リーディングファーマーズ銀行基金	209万円
教育施設整備基金	2億8,501万円
森林環境譲与税基金	152万円

○令和5年度への繰越明許事業の内容

道路舗装事業 (町道舗装改良工事)	193万円
公共施設等長寿命化対策事業費 (東郷小学校プール等改修工事)	1,236万円

○特別会計予算

国民健康保険	後期高齢者医療	介護保険	農業集落排水事業	下水道事業
6億8,890万円 (1.4%増)	9,320万円 (3.1%増)	8億6,760万円 (2.3%増)	1億6,890万円 (2.3%減)	4億1,720万円 (4.6%増)

※()内は対前年度比

基本目標①

将来にわたって
活躍できる人を育むまち



ZoomUp

- 子育て
- 学校教育
- 社会教育



子育て世代の負担軽減

出産祝金の支給、保育料の段階的無償化、出産・子育て応援給付金の支給を継続するとともに、入院・通院医療費の完全無料化を高校生まで拡大します。

妊娠・出産・子育て期にわたる切れ目のない支援の拡充

母子健康包括支援センターを拠点に、産前・産後サポート事業や産後ケア事業を通し、包括的な相談、支援体制の充実を図ります。



▲産前・産後サポート事業(ママヨガ)

多様な子育てニーズに対応

民間と公立の3園での連携を図り、それぞれの特色を生かした保育・幼児教育のほか、子育て支援センターや学童保育所の運営支援により、多様な子育てニーズに対応します。

GIGAスクール構想に基づく教育

1人1台配置したタブレット等のICT機器を活用し、一人ひとりの理解や能力・適正に合わせた個別最適な学びの指導体制を整えて、学力向上に取り組みます。

スポーツ振興

コロナ禍により停滞していたスポーツ大会や教室などの活動再開の推進と、中学校部活動の地域移行に取り組みます。

主な事業と予算

- ▶ 学童保育支援事業 3,070万円
- ▶ 子育て支援医療給付事業 3,029万円
- ▶ 小学校・中学校教育情報化推進事業 2,264万円
- ▶ 子育て支援センター事業 2,106万円
- ▶ 母子保健事業 775万円

基本目標②

いつまでも健康で
安心して暮らせるまち



ZoomUp

- 健康福祉
- 社会保障
- 防災



地域共生社会の実現に向けて

関係機関との連携を図りながら、地域福祉を総合的、かつ計画的に推進します。特に、社会福祉協議会との連携により、ボランティアセンター機能の充実を図り、住民がつながり支え合う環境・居場所づくりに取り組みます。

公共施設の長寿命化

経年劣化により、改修が急務となっていた屋内多目的運動施設「アスレなの花」の大規模改修工事に着



▲屋内多目的運動施設「アスレなの花」

主な事業と予算

- ▶ 常備消防事務委託事業 2億139万円
- ▶ 公共施設等長寿命化対策事業 1億6,710万円
- ▶ 社会福祉法人等支援事業 6,613万円
- ▶ 健康増進事業 1,582万円
- ▶ 消防ポンプ整備事業 272万円

手し、快適かつ安心して利用できる施設整備に取り組みます。

地域防災力の強化

近年多発する自然災害の教訓を踏まえ、各関係機関等との情報共有、連携強化を図るとともに、防災訓練の実施や町内会自主防災会の支援などにより、地域防災力の強化に取り組みます。

また、消防活動では、担い手不足の解消を目的とした消防団員の処遇等に関して見直しを行い、消防団活動の強化を図ります。

健康増進

健康寿命の延伸を目的に、特定健診や各種がん検診の受診を勧め、早期の疾病予防、重症化予防を図るとともに、個別の状況に合わせた保健指導を行います。



▲来場者でにぎわうカレーイベント

農業所得の向上
 農業者の高齢化や担い手不足に加え、米価の低迷や燃油・肥料代・資材費等の物価高騰などにより、農業者をとりまく状況が厳しくなる中で、農業所得の向上に主眼を置き、園芸作物等による農業所得の確保を目指すとともに、こだわりの米づくりや土づくりに対する支援を推進します。
地域経済の活性化
 消費喚起や商業者等の経営安定を図るため、出羽商工会のプレミアム

ZoomUp

- 産業振興
- 観光振興
- 地域交流



基本目標③

創造力にあふれ
豊かさを実感できるまち



主な事業と予算

- ▶ いろいろ火の里推進事業 6,781万円
- ▶ 中小企業等振興支援事業 6,257万円
- ▶ 土地改良施設整備事業 1,826万円
- ▶ 観光対策事業 995万円
- ▶ 新農業所得構造改革推進事業 749万円

付商品券発行事業を支援します。
交流人口の拡大
 観光協会が開催する春の菜の花まつりや秋のカレーイベント等を通して、アフターコロナにおける交流人口の拡大とにぎわいの創出に取り組みます。
 また、いろいろ火の里施設を運営する(株)みかわ振興公社等との連携、さらに、ふるさと応援寄附金制度の活用により、本町の魅力を全国に発信し、多面的な誘客活動に取り組みます。
いろいろ火の里施設整備
 なの花ホールや田田の岩風呂浴室の大規模改修により、安全で快適な施設環境の整備に取り組みます。



▲地域住民が管理する桜木地区の緑地

桜木地区の早期宅地分譲
 造成工事に着手した桜木地区住環境整備事業について、早期の宅地分譲を目指すとともに、ニーズに対応した「みかわ産業団地」の拡張準備に取り組みます。
住まいづくりへの支援
 多様な住宅ニーズに対応した生活環境の形成を推進するため、住宅取得や住宅リフォーム工事等に対する支援に、引き続き取り組みます。

ZoomUp

- 住環境整備
- 町民参画
- 行財政改革



基本目標④

未来に向かって
継続し発展するまち



主な事業と予算

- ▶ 廃棄物処理事業 1億3,125万円
- ▶ 雨水対策推進事業 1億円
- ▶ 電子自治体推進事業 5,584万円
- ▶ 住まいづくり支援事業 1,780万円
- ▶ 地域づくり活動推進事業 1,076万円

インフラ整備を推進
 町民の快適で利便性の高い安定した生活基盤となる道路や橋梁、下水道等のインフラ整備を進めます。
協働のまちづくりを推進
 町民や町内会、事業所等の公益的な活動の支援とともに、町民の積極的なまちづくりへの参加と提言等の機会の確保に努めます。
町民の利便性向上へ
 身近な行政サービスを提供する基礎自治体として、「三川町DX推進計画」に基づき、行政事務のデジタル化や、手続きのオンライン化を進め、町民の利便性の向上とともに、事務の効率化に取り組みます。

遊びにおいでよ! パルク赤川



「赤川河川緑地ふれあい広場」(愛称「パルク赤川」)の整備が完了し、4月から広場全体の利用が可能となりました。ここでは、パルク赤川の概要と利用方法などを紹介します。

河川空間の一体的な整備

快適で安全性の高い公園・緑地として、本町の新たなにぎわいの場となるよう広場のエリアを拡大するとともに、堤防への桜の植樹や船着き場の整備を行いました。

パルク赤川は、鳥海山や月山を眺めながら、赤川をより身近に感じることが出来る広場となっていますので、ぜひご利用ください。

問合せ先

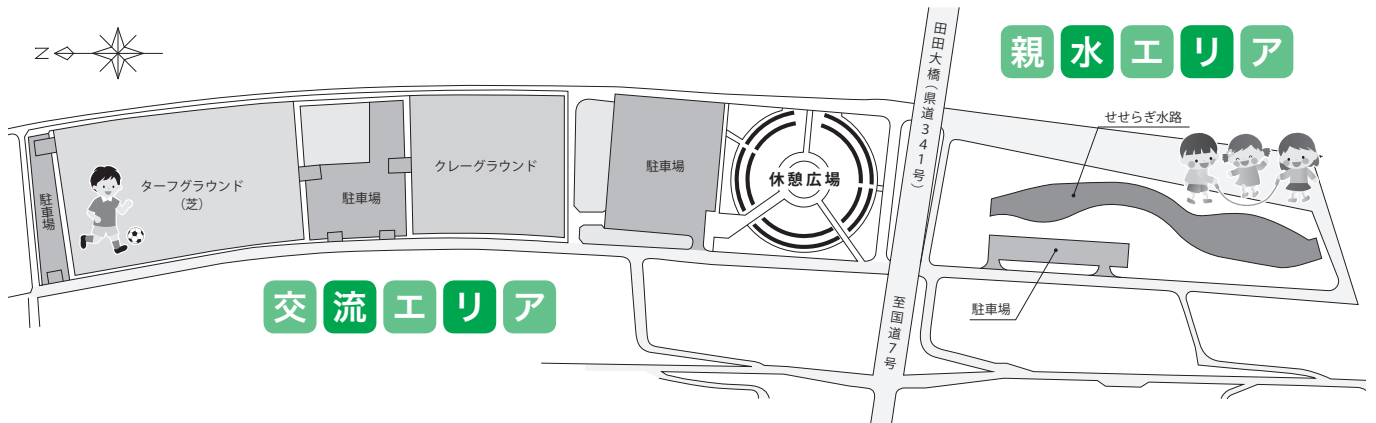
◆パルク赤川の全般に関すること

役場建設環境課 建設係

☎ 35-7035

◆かまど施設の利用申請に関すること

三川町シルバー人材センター(三川町公民館内)
☎ 66-4403



親水エリア

親水エリアの「せせらぎ水路」には、噴水を設置しており、スイッチに触れることで水が出て、水遊びを通して水に親しむことができます。

○噴水の操作可能日時

土・日曜日 午前10時～午後1時
50分（今シーズンは4月22日（土）から稼働予定）

※雨天や強風時は稼働しません。



写真提供：SHONAI Fun!

▲銀色のスイッチの上部に触れると…



写真提供：SHONAI Fun!

▲噴水から水が出るよ

交流エリア

交流エリアの休憩広場には、さまざまな施設を設置しており、鍋や鉄板を用いた調理ができ、芋煮会などを行うには適した施設となっています。かまど施設は無料で利用することができますが、利用申込みのほかに、鍵や備品を借りる必要があります。

また、休憩広場には砂利敷きの箇所があり、持参したバーベキューコンロをセットして、日帰りキャンプを楽しむことができます。

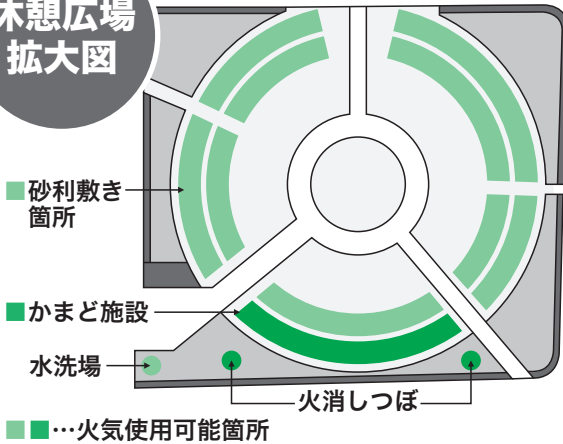


休憩広場の利用方法について

次の点を守ってご利用ください。

- の場所には、バーベキューコンロ等を持込むことができますが、地面や芝生の上に直接炭や薪を置いて火気使用する「直火」は行わないでください。
- 以外の場所では、火気を使用しないでください。
- ・火気使用可能時間は、午前9時から日没までです。
- ・使用した炭、薪、燃えカスは、かまど近くの火消しつぼに入れるか、持ち帰りにご協力をお願いします。

休憩広場拡大図



パルク赤川オープニングイベント 熱気球搭乗体験

- 日時 5月6日（土） 午前9時～午後2時
 - 費用 無料
 - その他 搭乗体験には整理券が必要です。当日、午前8時30分から現地で配布します。
- ※当日の天候（雨や風）によっては、中断・中止の場合があります。



▲当日の運行状況はこちらから（スマイルパルコンツイッター）



地上のアンカーとロープでつながり、15m～20mの高さを上下する「係留飛行」です。

子ども広場 ひろば

みかわ保育園・幼稚園より

「5歳組さん今までありがとう！次は僕たちの番！」

みかわ保育園・幼稚園の園児による「引継ぎ会」と「お別れ会」の様子を紹介しします。

☆引継ぎ会(3月8日)

5歳組の園児が4歳組の園児に、伝統を守ってきた和太鼓演奏や、「なかよし農園」での野菜の世話の仕方について、身ぶり手ぶりを交えて丁寧に教えてあげました。

和太鼓は、5歳組の園児が実際に太鼓を打って見せながら、「はだしになると、力が入って踏ん張れます」、「腕を真つすく伸ばして、目はバチの先を見ます」と説明し、『三川の大地と風』の演奏を披露しました。迫力ある演奏に見入っていた4歳組の園児の「難しいと思った」という感想に、5歳組の園児は「練習すればうまくなるよ」、「僕も難しいと思ったよ」と応えていました。その言葉からは、思いやりの気持ちを感じられました。

また、野菜の世話の仕方については、5歳組の園児が、水やりや野菜を植えたり収穫したりするタイミングなどについて、「キュウリはバトンくらの大きさにしたら収穫します」、「サツマイモのつるは、リース作りに使います」などと、プロジェクトを使って写真や動画を見せながら説明しました。



▲4歳組と5歳組の園児と一緒に給食を食べる様子

町長コラム

「誠・心・誠・意」



▲50周年記念活動レシビ集

食生活の変化

3月26日(日)、三川町食生活改善推進協議会発会50周年記念式典に出席しました。半世紀にわたり、食生活の改善を通して町民の健康づくりの推進に取り組んできた同協議会の活動に、改めて感謝いたします。

さて、50年という年月の中で、私たちの食生活は、大きく変化してきました。式典で講演された東北公益文科大学の渡辺准教授によれば、この10年間で、コロナ禍の影響もあり、大学生や子どもたちが一人で食事をする「孤食」の割合が高まっています。また、誰かと共に食事をする「共食」が多いほど、自立性と知的好奇心が高い傾向があり、共に食べる「食べ友」のつながりを増やすことを推奨しています。

食生活は、平均寿命にも大きく関係しており、明治時代に40歳台だった日本人の平均寿命が飛躍的に伸びたのは、食生活が変化し、肉、牛乳・乳製品、卵などの動物性タンパク質と脂肪の摂取量が増えたからと言われています。タンパク質を含む栄養素を十分に摂取することにより、私たちの体は、骨格を作ったり、生体機能を調節したり、感染症から予防することができます。健康を維持することができます。

また、厚生労働省の「都道府県別生命表」で、平成25年に長野県が1位になると、大きな要因であった「減塩運動」が話題となり、全国的に運動が広がりました。減塩運動は、多くの疾病の原因となる食塩の摂取量を減らそうとする運動で、1日の目標量が男性7・5g、女性6・5gに対して、平均摂取量が男性11・0g、女性9・3g(平成30年国民健康・栄養調査)と、さらなる減塩運動の推進が必要です。

さらに近年では、コロナ禍や世界情勢による物価高の影響などにより、食生活や食料自給率への関心が高まっています。町民の食生活と健康への関心の高まりとともに、三川町食生活改善推進協議会の益々の発展と活躍が期待されます。

この説明も真剣な表情で聞いていた4歳組の園児からは、次は自分たちが幼稚園で最年長の組になることへの憧れや、期待が感じられました。

☆お別れ会(2月9日)

4歳組の園児は、お別れ会に向けて、5歳組の園児との思い出を振り返りました。一緒に遊んだことや、畑で芋掘りをして焼き芋を食べたことなどが思い出としてあがり、「さみしい」、「今までありがとう」などの声が聞かれました。4歳組の園児が話し合い、5歳組の園児にプレゼントを贈ることが決まると、「喜んでほしい!」との思いから、手作りの看板や歌、メッセージなどの準備を内緒で進めました。4歳組の園児がプレゼントを作る姿からは、心の中に感謝の気持ちがあふれているように感じられました。

お別れ会の当日は、4歳組の園児代表が、はじめの言葉やおわりの言葉など、会の進行を務めました。5歳組の園児は、3・4歳組の園児から拍手で迎えられ、うれしそうに入場していました。みんなで『ほいくえん・ようちえんの歌』を歌ったり、各学年で準備した歌や思い出発表を通して感謝の気持ちを伝えたりと、楽しく、温かく、そして「ありがとう」の気持ちで溢れたお別れ会となりました。

4歳組の園児は、引継ぎ会やお別れ会を通して、5歳組になることへの期待がさらに高まったようでした。

5歳組の園児から教わったことを思い出しながら、新年度も友達と力を合わせてがんばっていきましょー!



三河文芸コーナー

俳壇

眠たさをこらえて春の星うるむ

工藤ひろし

春耕のエンジン音や草地見ゆ

佐藤 誠爾

白い庭光さしこむ春の霜

斎藤 優

水温む上着一枚脱ぎすてて

飯野 藤子

山鳩の声何処から春の夢

庄野すみれ

落ち椿抱へて笑まう幼子よ

春山 夏海

庄内の名も無き山の棚霞

菅原たけお

歌壇

春待つ日ゆつくり冬を楽しんで消える根雪を微笑みなりき

土田 秀

漸くに寒さandra春の陽に草木も芽吹きて季は巡り来る

齋藤与次雄

満月の光を浴びて思い出さず丸く生きよと亡母はさとしき

佐藤 颯

風花舞う寒き空よりそそぐ陽よ我が身に射せよ内まで透せよ

齋藤 久繁

どんな色神が結びし家族の和長く続くを朝日に祈る

佐藤 博政



3/13
(月)

復刻米「イ号」の米粉100%使用
町内小・中学校卒業生に
米粉クッキーを贈呈



三川町観光協会は、水稻品種「イ号」を使用した新たな商品開発の一環として、町立小・中学校の卒業生に、卒業記念品としてイ号の米粉を使ったクッキーをプレゼントしました。この米粉クッキーは、新たな商品開発の一環として障害者の就労支援などを行う本町のNPO法人はんどめいど糸蔵楽に製造を依頼したものです。

5月6日(土)に、菜の花まつりで、はんどめいど糸蔵楽が販売しますので、ぜひお召し上がりください。

3/16
(木)

持続可能な農業推進
東北農政局賞・
県最優秀賞受賞



左から菅原誠さん、菅原孝明さん、
菅原弘行さん、菅原誠一さん

農事組合法人対馬ミニライスセンター米左衛門(代表：菅原孝明さん(対馬))における有機栽培米の取り組みが評価され、農林水産省の令和4年度未来につながる持続可能な農業推進コンクール「有機農業・環境保全型農業」部門において、東北農政局賞を受賞しました。

また、やまがた・人と環境にやさしい持続可能な農業推進コンクール2022では、最優秀賞を受賞し、菅原さんは「継続して取り組み、未来(若手)につないでいきたい」と話していました。

3/3
(金)

本町から1人が入隊
自衛隊新入隊員の
激励会を開催



左から前田本部長、保護者、田中さん、阿部町長

3月3日(金)、陸上自衛隊一般曹候補生として陸上自衛隊に入隊予定の田中千鶴さん(横山下)への激励会が役場で開催されました。

激励会では、自衛隊山形地方協力本部の前田義道副本部長や阿部町長から激励の言葉が贈られました。

激励を受けた田中さんは、「周りの大切な人たちだけでなく、多くの方を守れるように頑張ります」と意気込みを語ってくれました。



3/16
(木)

スポーツの振興に寄与
山形県スポーツ賞・山形県
スポーツ協会表彰功労賞を受賞



左から阿部さん、五十嵐さん、坂さん

近代2種・3種の世界選手権大会で入賞した成績により、阿部暁梨沙さん(横山下)が山形県スポーツ賞のスポーツ栄誉賞を受賞しました。

また、長年にわたり生涯スポーツの振興に寄与した功績により、次の3人の方が山形県スポーツ協会表彰の功労賞を受賞しました。おめでとうございます。

三川町体育協会 会長 坂 義若さん(横山上)
三川町体育協会 前会長 五十嵐慶一さん(猪子)
鶴岡ソフトテニス連盟 会長 荒田 賢二さん(横山下)



3月26日(日)、全日本空輸(株)(ANA)による庄内空港発着羽田線の5便化が、期間限定で開始し、記念セレモニーが庄内空港で開催されました。

5便運航は12年ぶりで、羽田空港から到着した旅客機を祝賀放水で迎えるとともに、菜の花むすめなどから搭乗者に「つや姫」などの記念品が手渡されました。

セレモニーを主催した庄内空港利用振興協議会の丸山至会長(酒田市長)は、「アフターコロナのビジネス、観光拡大の大きな弾みになる。期間中の搭乗者を着実に増加させ、年間を通した5便化の実現に取り組んでいきたい」とあいさつしました。

〈期間増便〉3月26日～10月28日

便名	庄内発	羽田着
ANA394	7:10	8:15
ANA396	8:45	9:50
ANA398	※ 12:15	※ 13:20
	△ 13:05	△ 14:10
ANA1072	※ 14:55	※ 16:00
ANA400	17:45	18:50

便名	羽田発	庄内着
ANA393	7:05	8:05
ANA395	※ 10:35	※ 11:35
	○ 11:25	○ 12:25
ANA1071	※ 13:10	※ 14:10
ANA397	16:05	17:05
ANA399	20:30	21:30

※は3月26日～5月31日、10月1日～28日に運航
この期間以外は、398便は△、395便は○にて運航



▲祝賀放水のアーチをくぐる羽田からの到着機



▲搭乗者に記念品を手渡す菜の花むすめ



▲くす玉を割る阿部町長、地元関係者



三川町食生活改善推進協議会
発会50周年記念式典

3月26日(日)、子育て交流施設テオトルで、三川町食生活改善推進協議会の発会50周年記念式典が開催され、長年にわたり活動された会員の表彰が行われました。

また、東北公益文科大学准教授の渡辺暁雄氏による「いただく気持ちは食べるカラダ～若者と家庭の食事スケッチ～」と題した記念講演が行われ、ユニークに描かれた食事風景の話題に、笑いが起こる場面も見られ、食生活の変化に感心しながら食の重要性を改めて学び合いました。

今後も、仲間づくりを大切にしながら健康づくりの輪を広めていただき、時代や地域のニーズに応じた活動を、楽しみながら展開されることを期待しています。



三川町地域包括支援センター事業のご案内

専門員がサポートします

認知症初期集中支援チームの訪問

この事業は、委託医療機関である三川病院の医師、看護師、精神保健福祉士等でチームを設置し、チーム員による訪問や継続的なサポートを行います。認知症になっても早期診断・早期対応することで、住み慣れた地域で、できるだけその人らしく生活できるよう、本人やその家族に支援を行うものです。

専門職のチームによる支援で、適切な医療や介護サービスの利用につながるまでの支援となります。利用料は無料です。困ったことについては気軽にご相談ください。

内容

認知症の知識を持つ専門員が認知症または認知症が疑われる方の自宅を訪問し、専門医療機関の受診、介護サービスに関する説明や利用支援、認知症の状態に応じた助言等を行います。期間は、医療や介護サービスによる安定的な支援に移行するまでの間で、概ね6カ月以内とします。

○自宅への訪問

町の地域包括支援センターから連絡を受けた三川病院のチーム員2人が自宅を訪問し、本人や家族から認知症の症状や困っていること等についてお聞きします。

○支援方針に沿ったサポート（継続訪問）

初回訪問の結果をもとに支援方針を決定し、本人の症状や家族の状況にあった継続的な支援を行います。

対象となる方

自宅で生活している40歳以上の方で認知症または認知症が疑われる方で、次のいずれかに該当する方

①医療サービス、介護サービスを受けていない方、または中断している方

- ・認知症の臨床診断を受けていない、または中断している
- ・継続的な医療サービスを受けていない
- ・適切な介護サービスに結びついていない

②医療サービス、介護サービスは受けているが、認知症による症状が強く、どのように対応してよいのか困っている方



正しく認知症を学ぼう

認知症サポーター養成講座

認知症サポーターとは、認知症を正しく理解し、認知症の方や家族を温かく見守る応援者のことです。

本町でも、認知症を正しく知ってもらうために認知症サポーター養成講座を実施しており、受講を希望する団体等を募集しています。講座は、町内会での健康まつりやサロン、小学校の授業などの機会に開催しています。

身近なグループで認知症について一緒に学び、理解を深めましょう。

○開催時期 5月～令和6年3月

○時間 約1時間～1時間半

○内容 「認知症とは」「認知症の方への接し方」などの講話、寸劇・紙芝居等による説明



○問合せ先 三川町地域包括支援センター（役場健康福祉課内） ☎ 35-7031

交通事故ゼロを目指して

高齢者の安全運転対策を推進します

近年、高齢ドライバーによるブレーキとアクセルの踏み間違い事故など、高齢者ドライバーの事故がニュースで話題になることが多くなっています。

町では、高齢ドライバーが加害者となる事故の減少を目指して、高齢者の安全運転を支援する事業を実施します。積極的に活用し、交通安全に努めましょう。

高齢者安全運転支援装置設置促進事業 ※令和5年度新規事業

- 内容 アクセルとブレーキを踏み間違えた際の急発進等抑制装置の設置経費の補助（現在使用している自家用車に取り付ける、急発進等抑制装置の費用を支援）
- 対象 次のいずれにも該当する方が、令和5年4月1日以降に取り付けた急発進等抑制装置の費用
 - ・町内に住所を有する65歳以上の方
 - ・有効な運転免許証をお持ちの方で、車検証に記載している使用者と同一の方
 - ・町税の滞納がない方
- 補助率 対象経費の2分の1以内を補助（上限25,000円、千円未満切捨て）

運転免許自主返納支援事業 ※年齢要件なし

体力や視力の低下などの理由により自主的に運転免許証を返納した方に、運転経歴証明書交付手数料の助成と、なの花温泉田田の入浴券または三川町観光協会「味だより」などを進呈します。

- 問合せ先 役場総務課 危機管理係 ☎35-7010

デマンドタクシーでんでん号を運行しています

高齢者等の町内での買い物や通院等にかかる移動手段を確保するため、町では「デマンドタクシーでんでん号」を運行しています。乗合タクシーですが、1回300円で町内を自由に移動できますのでご利用ください。ただし、利用には役場への登録が必要です。登録の際、役場に来ることが難しい方は電話等でご相談ください。

- ★自宅から目的地（町内のみ）まで利用できます
- ★利用料金は300円/回
- ★通年運行です。1日7便運行中！（ただし、祝日、お盆8/13～16、年末年始12/29～1/4は運休です）
- ★運行時間
午前9時、10時、11時、正午、
午後2時、4時、5時
- ★登録ははじめての1回だけで簡単にできます（登録は無料です）



- 登録・問合せ先 役場企画調整課 企画調整係 ☎35-7013



町からのお知らせ

軽自動車税(種別割)納税 通知書を送付します

4月中旬に今年度の軽自動車税(種別割)の納税通知書を送付しますので、期限内での納付をお願いします。

◆対象となる車両

軽自動車、原動機付自転車、小型特殊自動車、二輪の小型自動車

◆税の口座振替

税の納付については、口座振替をお勧めしています。役場町民課または最寄りの金融機関で手続きできます。

◆口座振替の方の納税証明書

車検の際、オンラインシステムで納税状況が確認できるため、今年度から納税証明書は送付しません。なお、二輪の小型自動車(総排気量が250ccを超えるもの)の車検を受ける方は、納税証明書が必要ですので、お問合せください。

○問合せ先 役場町民課 税務係

☎ 35-7026

にこにこ介護者ほっとカフェ

認知症の方などを介護している家族を対象に、にこにこ介護者ほっとカフェを開催します。日ごろ感じている介護の大変さや不安など、介護者同士が話し合い、情報交換できる場です。お気軽にご参加ください。

○日時 5月9日(火) 午後1時30分～3時(出入り自由)

○会場 三川町社会福祉センター

○内容 介護相談やおしゃべり、お楽しみ交流など

○参加費 100円(茶菓代)

○マイチャレポイント 10ポイント

○申込み締切り 5月2日(火)まで

○申込み・問合せ先 三川町地域包括支援センター(役場健康福祉課内)
☎ 35-7031

マイナンバーカードの申請・交付手続きのご案内

○マイナンバーカードの申請から交付までの流れ

①役場で申請

電話で予約

役場で申請する場合は、必ず予約をお願いします。

町民課住民係で申請書記入・写真撮影

このとき、通知カード、免許証等の本人確認書類が必要です。

本人限定郵便でカード受取り

受取り方法は、事前に届く郵便局の通知書をご確認ください。

②自分で申請(※町民課窓口では、申請サポートを実施しています。お気軽にお問合せください。)

スマホ・パソコン・郵送で申請

自宅に交付通知書(はがき)が届く

役場でカード受取り

約1カ月半～2カ月後

交付通知書には、受取り時に必要なものを記載しています。記載内容を確認の上、役場にお越しください。

顔認証や暗証番号の設定を行います。ご都合のつく時にお越しください。

○窓口ナイトサービスをご利用ください

毎月第2・第4金曜日は、町民課窓口の業務を午後7時まで延長しています。マイナンバーカードの手続きは、1人あたり15分程度かかりますので、お早めにお越しください。

○手続き・問合せ先

役場町民課 住民係 ☎ 35-7025

GW期間中はマイナンバーカードの一部手続きができません

4月29日(土)～5月7日(日)は、申請・交付以外の手続きができませんので、ご注意ください。

※できない手続き

暗証番号再設定、住所・氏名変更、電子証明書の発行・更新など



農地利用最適化推進委員を公募します

農業委員と共に、担い手への農地集積や遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進などを行う、農業に識見を有する推進委員を公募します。自薦、他薦は問いません。

○定数 3人

○任期 令和7年8月11日まで

○応募方法 農業委員会窓口で配布する推薦書または応募申出書に必要事項を記入し、提出してください。

○選考 農業委員により選考を行います。

個人情報保護と情報公開の実施状況のお知らせ

◆個人情報保護に係る実施状況

令和4年4月1日から令和5年3月31日までにおける、本町の個人情報保護、および情報公開に係る実施状況は、次のとおりでした。

- ・個人情報開示請求件数 3件
- ・個人情報訂正請求件数 0件
- ・個人情報正申出件数 0件
- ・審査請求件数 0件
- ◆情報公開の実施状況
- ・情報公開請求件数 4件

保育料負担軽減事業について

次の対象施設等を利用中（または令和6年3月までに利用予定）で、対象児の要件すべてに該当する方は、施設利用料が山形県保育料段階的負担軽減事業の対象となる場合がありますので、申請をお願いします。

- ・情報公開件数 4件
- ・情報非公開件数 0件
- （うち該当情報なし 0件）
- ・審査請求件数 0件
- 問合せ先 役場総務課 総務係

定こども園の2歳児預かり

- 対象児 次のすべてに該当する方
- ① 0歳児から2歳児
- ② 保育の必要性がある児童
- ③ 世帯年収約470万円未満
- 申請・問合せ先 役場健康福祉課 子育て支援室 子ども支援係（役場2階教育委員会内）

特別児童扶養手当をご存じですか

特別児童扶養手当は、精神または身体に障害を有する20歳未満の方を、監護または養育している方に対し支

その他のお知らせ



給されます。手当を受けるためには、障害認定診断書等を添えて、役場健康福祉課に申請する必要があります。※障害の状況により該当しない場合や、所得により手当の支給が制限される場合があります。

酒田市無料法律相談

三川町民も相談できます。申込み時に相談の概要と住所、氏名をお知らせください。秘密は厳守します。

- 日時 5月12日(金) 午後1時30分〜4時30分
- 内容 法律に関する相談（本人のことに限る）
- 定員 先着6人
- 相談員 尾形稔 弁護士
- 申込み開始日時 4月24日(月) 午前8時30分
- 会場・申込み・問合せ先 酒田市 まちづくり推進課 市民相談室

空き家相談・不動産業開業相談窓口のご案内

○日時 月曜日、金曜日（祝日、

年末年始を除く） 午前10時〜午後4時

○内容 空き家相談 空き家に関するご相談、ご依頼等、お気軽にお問合せください。お近くの相談員が対応します。

不動産業開業相談 開業の要件や手続き、費用等のご質問に何でもお答えします。

○相談・問合せ先（公社）全日本不動産協会山形県本部

空き家相談

☎023-665-0100

不動産業開業相談窓口

☎023-642-6658

新規採用職員紹介



あべ るい
阿部 留依
(庄内町)
健康福祉課
地域包括支援センター



にしかわ しおり
西川 史織
(押切中町)
健康福祉課
健康係(保健師)



■鶴岡市

インスタグラムフォトコンテスト

- 期 間 5月7日(日)まで
- 撮影対象 鶴岡市内指定範囲の桜
- 各賞 グランプリ、優秀賞等
- 問合せ先 鶴岡商工会議所

☎24-7711



■酒田市

酒田日和山桜まつり

- 期 間 4月17日(月)まで
- 会 場 日和山公園(酒田市南新町)
- 駐 車 場 日和山公園第1〜3駐車場、酒田港本港東ふ頭駐車場
- 内 容 千石船のライトアップ、ぼんぼり点灯(午後6時30分〜9時)、露店の出店

- 問合せ先 酒田観光物産協会
- ☎0234-24-2233

舞鶴公園桜のライトアップ

- 期 間 4月23日(日)まで
- ※桜が散り次第終了
- 会 場 舞鶴公園、八森自然公園
- 八森温泉ゆりんこ付近の桜並木(酒田市麓字緑沢)

舞鶴公園駐車場

- 内 容 舞鶴公園桜のライトアップ(午後6時30分〜9時)
- 問合せ先 酒田市八幡総合支所

☎0234-64-3111

■庄内町

カートソレイユ最上川へ遊びにいきよう!

◆春のファン感謝ウィーク

庄内町にお住まいの方以外も、期間中はお得な町民料金で利用できます(対象カート…スポーツカート、レジャーカート。コース占用の場合を除く)。

○期 間 4月23日(日)まで

○時 間 午前9時〜午後5時

◆カート無料体験&タイムトライアル

- 日 時 5月7日(日) ①午前10時〜、②11時〜、③正午〜、④午後1時〜、⑤2時〜
- 定 員 先着30人(各時間6人)
- 対 象 身長145cm以上の方(初心者歓迎)

- 内 容 レンタルカートの無料走行体験(5分程度)、タイムトライアル(希望者のみ。参加料700円、入賞者には賞品あり)
- 会 場・問合せ先 カートソレイユ最上川(庄内町連枝字新割)

☎0234-42-2282

源義経ゆかりの品々を一般公開!

清川関所では、最上川舟運や清川を訪れた芭蕉、義経に関する展示「最上川舟運と清川」を行っていただきます。次の期間は特別展示として、義経一行が奥州平泉に逃れる際、一夜を過ごしたと言われる御諸皇子神社に伝わる「青葉の笛」など、義経ゆかりの品々6点を、羽黒山の出羽三山歴史博物館で公開して以来、約40年ぶりに一般公開します。

57年前には、NHK大河ドラマ『源義経』の放送前に、出演者たちが御諸皇子神社を訪れ、ゆかりの品々を閲覧しています。この機会に、ぜひご覧ください。

○期 間 5月9日(火)〜28日(日)(月曜日は定休日)

○会 場・問合せ先 清川関所(庄内町清川)

☎0234-25-5885

いろいろ火の里 パートスタッフ急募

まずはお気軽にお問い合わせください

- ① 宿泊フロント 1名
臨時職員 社員登用制度あり
月額 160,000円
シフトによる4交代制 月7休
- ② 田田の宿内 和食処なな味 サービススタッフ 数名
時給 900円
17:00〜21:00 (時間は要相談)

- ③ 田田内 食事処いろいろ火 調理兼サービススタッフ 数名
時給 860円〜900円 シフトによる3交代制
①10:00〜14:00 ②10:30〜14:30 ③16:30〜20:30

応募・お問い合わせ
株式会社みかわ振興公社 〒997-1301 三川町大字横山字塚172-1
いろいろ火の里 ☎0235-66-4833 担当:高橋

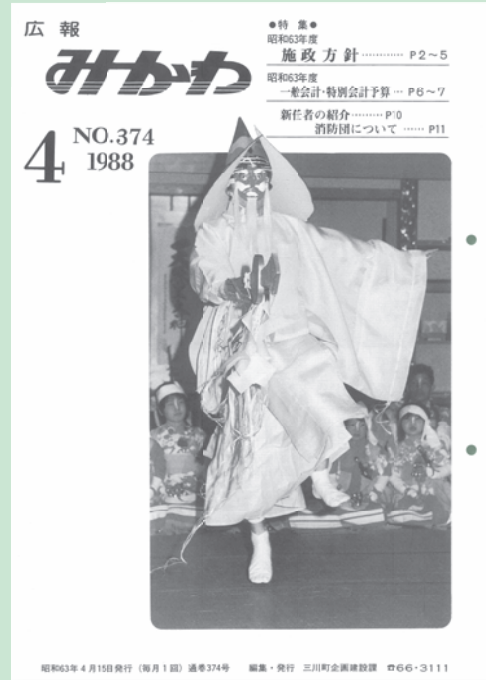
広告

イオンモールでは地球に対してできる事として
使わなくなった衣料品の回収・リサイクルを実施いたします。

回収できる物
衣料品は全額回収可能です。
○ジーンズ素材等 ○チャロン素材可
○素材別の区分、破れ、裏シタは
回収しません。
○衣料の付属品(ボタン・フック等)も
取り外すことなく回収可能です
○一部はリサイクルが困難な製品に
関しては回収不可です

回収できない物
著しく汚れているもの・汚物等が
ついているものは回収できません。
※靴・スリッパ・ルームシューズ
※靴・靴下・ソックス・巾着
※学生服・体操服・ユニフォーム
※浴巾 拭き取れ・タオル
※巾着や汚れている品
※型型をとめないハンカチのようなもの

1F いちまるコート (セリアさま隣)
回収期間 4/23(日) 10:00〜17:00
イオンモール三川 TEL 0235-68-1600 http://www.aeon.jp/sc/mikawa/



あの頃のみかわ

今から35年前のみかわ【昭和63年(1988年)4月】

「あの頃のみかわ」は、過去の広報を振り返り、当時の三川を紹介するコーナーです。今回は、今から35年前の昭和63年4月に発行された広報です。

表紙の写真は、押切地区の皇大神社「春の例大祭」の様子です。この年の春の例大祭では、同地区の宇賀神社に伝わる「剣の舞」と「天狗の舞」が100年ぶりに奉納されました。

また、地域防災の重要な役割を担う消防団の活動内容や団員の確保が難しくなっていることなどの消防団の抱える問題を紹介しています。この年の三川町消防団への新入団員が27人に対し、今年度は5人と、消防団員のなり手不足は深刻化しています。消防団活動の認識を深め、地域防災の輪を広げましょう。

【昭和63年3月末日現在の総人口：8,426人】

休日夜間診療のお知らせ

受診前に必ずお電話ください。感染症対策のため、症状を確認の上、受診のご案内をしています。

鶴岡市 場所：鶴岡市総合保健福祉センター「にこ♥ふる」内（鶴岡市泉町5-30）

◆休日夜間診療所◆ ☎ 23 - 5678	開所日	診療科	受付・診療時間
	月・土曜日 ※12月～3月は火～金曜日も診察します。	内科、小児科、外科	19:00～21:30
日曜日、祝日（振替休日含む）、 年末年始（12月31日～1月3日）	内科、小児科、外科	9:00～12:00 18:00～21:00 ※5月3日～5日は午後(13:30～17:00)も診察します。	

酒田市 場所：酒田市民健康センター別館（酒田市船場町二丁目1-31）

◆休日診療所◆ ☎ 0234 - 21 - 5225	開所日	診療科	受付時間
日曜日、祝日（振替休日含む）、 年末年始（12月31日～1月3日）	内科、小児科、外科	8:30～11:00 ※当面の間、午前中のみ	

謹んでご冥福をお祈り申しあげます

令和5年3月届出（敬称略）

瀬尾 峯(92歳) 加 沼 町野みち子(93歳) 成田新田
 百瀬 廣(95歳) 堤 野 奥泉くら子(98歳) 土 口
 中村 亮藏(93歳) 竹 原 田 小林美代子(88歳) 尾 花
 佐藤 富子(89歳) 横 内 成澤 昭五(93歳) 成田新田
 奥泉ふぢ子(94歳) 土 口

ご家族等から広報掲載の承諾をいただいた方のみ掲載しています。

ふるさと応援寄附金
ありがとうございました

3月分 932人

お名前と住所地は町ホームページで公開していますので、ご覧ください。

ご寄附ありがとうございました

地域福祉活動に役立ててほしいと、次の方から三川町社会福祉協議会にご寄附いただきました。

めん蔵イオン三川店様

◁ 人口の動き ▷
(令和5年3月末現在)
() 内前月比

■人口数/7,134人(減49人) 男3,495人(減27人) 女3,639人(減22人)
 増減の内訳 ・転入26人・転出▲65人・出生0人・死亡▲10人
 ■世帯数/2,480戸(減1戸)

食のみかわ おしながき

～食改さんの料理紹介 No.33～

「食のみかわ おしながき」は、食生活改善推進員
(通称：食改さん)による料理のレシピ紹介のコーナーです。



キラリボシスープ

菜の花「キラリボシ」は、
花も生で食べられます!



【材料(4人分)】

キラリボシ…………… 100g 水 …………… 800ml
玉ねぎ…………… 200g コンソメ …………… 2個
ベーコン1/2カット …… 4枚 塩こしょう …………… 適量

【作り方】

- ①鍋にお湯を沸かし、塩ひとつまみ入れてキラリボシを1分程度茹でる。水にさらし水気を絞る。
- ②①を1.5cmくらいの長さに切る。
- ③ベーコンと玉ねぎを1cm角(さいの目)に切る。
- ④水とコンソメ、③を鍋に入れて火にかけ、沸騰したら②を入れて塩こしょうをして味を整え、器に盛る。

令和5年度 食生活改善推進員養成コース(第41期)受講者募集

生活習慣病予防や健康づくりの輪を地域に広げる、食生活改善推進員の養成講座を開催します。健康的な食生活について学び、学んだことを地域の方々へ伝えたいという方の受講をお待ちしています。

- 期 間 6月7日(水)～11月21日(火)(月1回)
※詳しくは、町ホームページをご覧ください。
- 内 容 健康講話、調理実習、カロリー計算等
- 会 場 三川町公民館ほか
- 対 象 町内在住で修了後、三川町食生活改善推進協議会に入会していただける方
- 受講料 2,200円(テキスト、成分表代)
- 申込み締切り 5月12日(金)まで
- 申込み・問合せ先 役場健康福祉課 健康係 ☎35-7033



▲食中毒予防講話
栄養や調理以外にも、ごみの分別や運動についてなど広く学習します。



▲男の料理教室開催
養成コース修了後は、食改さんとして地域でボランティア活動を行います。



▲秋まつりで啓発活動

食改さんとして
一緒に活動しませんか?
多くの方々の受講を
お待ちしております!

